



8年連続むし歯ゼロ達成！ けんこう めざせ健口キッズ

※平成22年度から29年度まで、1歳6か月児のむし歯有病者率がゼロ

写真：めばえ保育園

6月4日から10日は「歯と口の健康週間」です。
むし歯になってから歯や口の健康の大切さに気付く方も多いのではないのでしょうか？
歯は健康の第一歩と言われ、全身の健康とも深い関係があります。
生涯を通して歯と口の健康を保つために、「歯」について考えてみましょう。

生涯健康な歯を保つために 子どものむし歯予防

「乳歯(子どもの歯)は生え変わるから、むし歯になっても大丈夫!」と言われていた時代がありました。たしかに乳歯は抜けるのですが、乳歯のむし歯が永久歯へ与える影響は大きく、大人以上に気を配る必要があります。しかも、乳歯や生えかわったばかりの永久歯は歯質が弱いため、大人の歯に比べむし歯になりやすいという特徴があります。

子どもたちのむし歯事情

町では、3歳児のむし歯本数を1本以下にすることを目標に、平成17年度から幼稚園・保育園児向けのフッ化物洗口や小中学生向けの歯科教室など「歯と口の健康づくり」運動に取り組んでいます。平成18年度には2.29本だったむし歯本数が、10年目の平成26年度には0.37本と目標を大きく上回る結果となりました。その後も、昨年度までむし歯本数は1本以下が続いています。また、平成29年度には1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児の子ども達もむし歯ゼロとなっています。

しかし、子どもが成長し、親の仕上げみがきが無くなる小学校高学年ごろから、むし歯の本数が増えています。平成29年度は、本町の12歳児1人あたりの平均むし歯本数が1.2本と、全国ワースト3位の県平均は下回ったものの、まだまだ全国平均には及ばない状況です。

鹿児島って
むし歯の本数
多いんだねー

